

# 内容項目を理解するポイント

## ✓ 児童生徒の発達段階に応じた指導



内容項目を理解するときのポイントをお教えください。

内容項目を理解するときのポイントは、**児童生徒の発達段階に応じた指導**と**計画的な指導**の2点です。

例1のように、同じ「個性の伸長」という内容項目でも、児童生徒の発達段階に応じて、**指導する内容は異なります**。小学校、中学校の指導内容を確認することが大切です。



### 例1 「個性の伸長」(小・中学校学習指導要領解説)

第1学年及び第2学年	自分の特徴に気付くこと
第3学年及び第4学年	自分の特徴に気づき、 <u>長所を伸ばすこと</u>
第5学年及び第6学年	自分の特徴を <u>知って</u> 、 <u>短所を改め</u> 長所を伸ばすこと
中学校	<u>自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること</u>

## ✓ 計画的な指導

例2の①～⑤のように、1つの内容項目に**複数の道徳的価値が含まれている**場合があります。複数の道徳的価値を1つの教材で扱うことが難しい場合は、1単位時間に指導するのではなく、小学校は低、中、高学年のそれぞれ2年間、中学校は3年間の中で計画的に指導することが大切です。



今日の授業では、「節度、節制」の「身の回りを整え」に関する部分を考えさせていく等、授業で取り扱う道徳的価値を絞って、計画的に指導していくことが大切なのです。

### 例2 「節度、節制」(小学校学習指導要領解説 第1学年及び第2学年)

健康や安全に気を付け<sup>①</sup>、物や金銭を大切にし<sup>②</sup>、身の回りを整え<sup>③</sup>、わがままをしないで<sup>④</sup>、規則正しい生活をすること<sup>⑤</sup>

### 参考文献

[1]	文部科学省：小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編	p32 - 34	あかつき
[2]	道徳教育編集部：道徳教育 2018年 6月号	p68 - 70	明治図書